

令和7・8年度 研究方針

1 研究主題

「生涯にわたり、たくましく、しなやかに生き抜く子どもの育成を目指して」

近年は将来の予測が困難な時代であり、不登校やいじめ、貧困など社会構造の変化を背景として子どもたちの抱える困難が多様化・複雑化しています。その健康課題の解決においては、養護教諭が中核的な立場で学校・家庭・地域・関係機関との連携・協働を強め、学校保健活動の充実を図り、子どもたちが賢明な判断力を養える保健教育を推進することが必要です。

また、第4期教育振興基本計画では「ウェルビーイングの向上」について挙げられています。この中で、子どもたちが将来にわたり持続的な幸福を感じ、多様な個人がそれぞれの幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられるような教育が求められています。

さらに多様性が増し、価値観も変化するこれからの時代において、子どもたちが自他の違いを理解し、大切さを認め合う力や、困難や逆境からさえもよりよい価値を生み出し、乗り越えていく力を育む必要があります。

私たち養護教諭は、子ども一人一人が生きがいをもった豊かな人生を送ることができるように、生涯にわたり、たくましく、しなやかに生き抜いていく子どもの育成を目指していきたいと思います。

本研究会は、各学校の特性や実情に合わせた養護教諭の教育活動の実践を、支部研究・グループ研究、研究委員公募による共同研究を行っています。養護教諭が互いに学び合い、また学び続けることで研究の成果を生かし、専門性と力量の一層の向上を図っていきます。

2 研究活動の概要

(1) 研究形態

支部研究：小学校－15支部 中学校－8支部 高校－1支部

グループ研究：総合支援学校

スタディプロモーションチーム（研究委員公募による共同研究）

(2) 研究期間

原則2年以上

3 研究のまとめ

(1) 支部研究・グループ研究について

令和7年度・8年度共に研究活動をまとめた研究冊子を作成し、テーマ別研究協議を行います。

研究協議会での発表は隔年とし、令和7年度の発表する支部は小学校7支部とします。発表する支部は、研究活動・成果をまとめた原稿を研究冊子に掲載し、発表しない支部は、研究経過をまとめた原稿を研究冊子に掲載します。どちらの支部も協議題を基に分科会に参加し研究協議を行います。

令和8年度については、令和7年度に発表しなかった小学校8部とすべての中学校・高校支部が研究協議会において発表を行います。発表しない小学校7支部の研究冊子・研究協議会については、令和7年度に発表しない支部に準じます。

(2) スタディプロモーションチームについて

研究冊子に研究経過をまとめた原稿を掲載し、各チームの研究の進捗に合わせて、研究協議会でその研究成果を発表します。

(3) グループ研究について

総合支援学校については、研究冊子に研究の経過を報告します。